

大規模な地すべり地形 荒砥沢地すべり

荒砥沢地すべりの概要

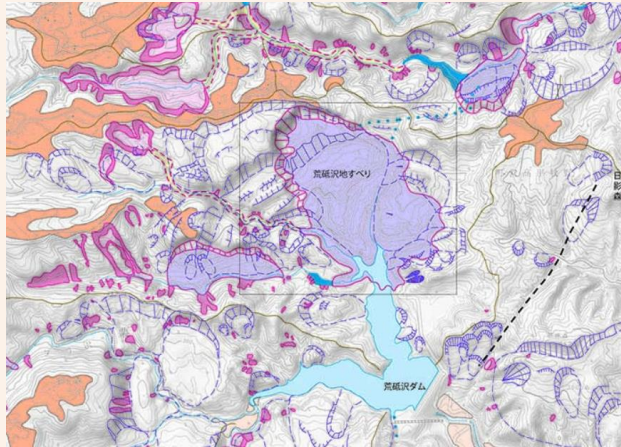
平成20（2008）年6月の岩手・宮城内陸地震（マグニチュード7.2，最大震度6強）により宮城県栗原市の荒砥沢で発生した日本最大級の地すべり。長さ約1,400m，幅約810m，滑落崖の高さ148m，移動した土塊は約4,500万立方メートルで，300m以上移動しました。

この場所で何が
起こったのかな。

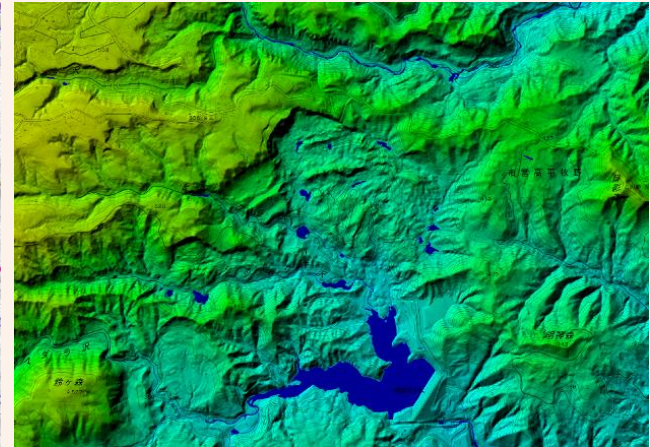


地震前の地すべり地形

- 明瞭な地すべり
- 明瞭な地すべり(移動域末端が不明瞭)
- やや開析された地すべり
- 初生岩盤すべりが予想される斜面
- 小崖地形
- やや開析された滑落崖
- 溝状凹地
- 滑落崖
- 浅層崩壊
- 浅層崩壊跡
- 小崩壊



(国土地理院 (2009) の一部)



(地理院地図)

左図の範囲のデジタル標高地形図

「平成20年（2008年）岩手・宮城内陸地震1：25,000詳細活断層図（活断層・地形分類及び地形の変状）」

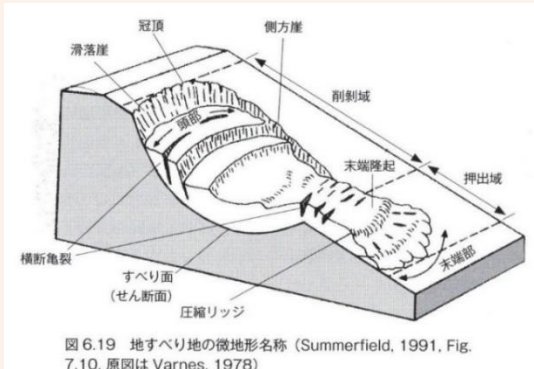


図 6.19 地すべり地の微地形名称 (Summerfield, 1991, Fig. 7.10, 原図は Varnes, 1978)

地すべり地形の模式図

(松倉, 2021)



(写真提供：八木浩司・山形大学名誉教授)

荒砥沢地すべりの全容

大規模な地すべり地形

荒砥沢地すべり



岩手・宮城内陸地震の土砂災害

岩手・宮城内陸地震では、荒砥沢地すべりのほかにも、多くの土砂災害が発生しました。

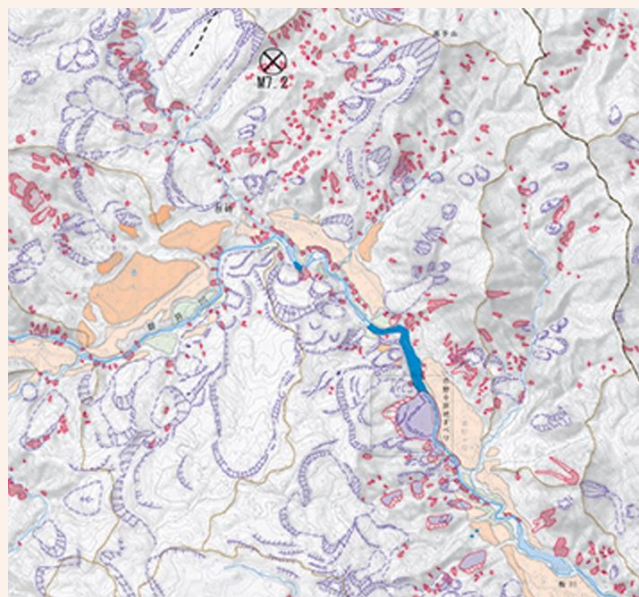
祭時被災地展望の丘

災害名：岩手・宮城内陸地震
(2008年6月14日)



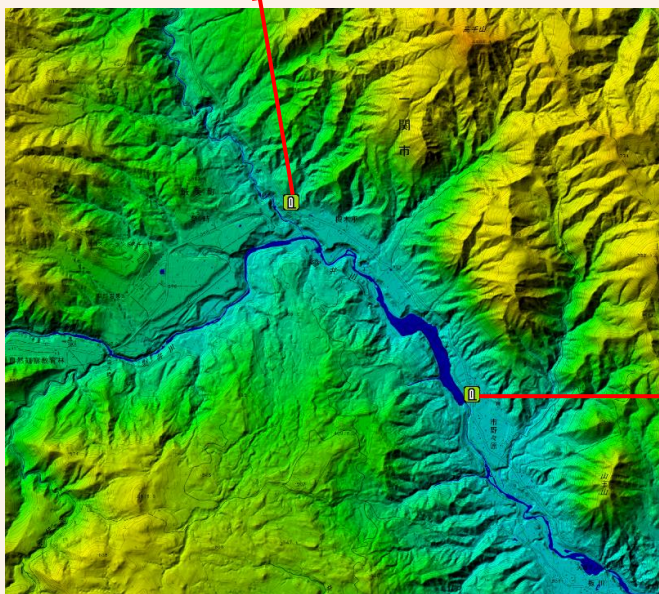
(地理院地図)

昔地すべりが発生したことを示す地すべり地形もあるね。地震ではがけ崩れや河道閉塞にも注目してみよう。



(国土地理院 (2009) の一部)

「平成20年 (2008年) 岩手・宮城内陸地震
1 : 25,000 詳細活断層図 (活断層・地形分類
及び地形の変状)」



左図の範囲のデジタル標高地形図

(地理院地図)

河道閉塞緊急対策記念碑

災害名：岩手・宮城内陸地震
(2008年6月14日)



(地理院地図)

災害を学ぶー栗駒山麓ジオパーク

岩手・宮城内陸地震で被災した栗駒山麓の地形・景観を教育、学術研究、観光、防災などに活用し、持続可能な地域づくりを目指した活動をしています。2015年日本ジオパーク認定。2024年には第1回NIPPON防災資産に認定されました。



(栗駒山麓ジオパークホームページ)

栗駒山麓ジオパークビジターセンターの空中写真フロア展示